00-1 GLM150C Professional(改02) 表紙.ai 1 2018/10/26 17:36:12

ボッシュ株式会社 電動工具事業部
ホームページ：http://www.bosch.co.jp
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7
コールセンターフリーコール
0120-345-762
（土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 5：30）
＊ 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

1 609 92A 4KV
1 609 92A 4KV (2018.10)

レーザー距離計
GLM 150 C Professional

BOSCH

取扱説明書（保証書）

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目　次

安全上のご注意
警告表示の区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

本製品について
用　途 ・・ 6
各部の名称 ・・・ 6
仕　様 ・・ 9
標準付属品 ・・・ 11
別売アクセサリー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

使い方
作業前の準備をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
作業する ・・ 14
他の機器へのデータ転送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
レーザー距離計の精度チェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
その他の機能設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

困ったときは
故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
修理を依頼するときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

お手入れと保管
お手入れと保管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
廃　棄 ・・・ 49

安全上のご注意

◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警　告

1. **レーザー光を人や動物に向けたり、直接のぞいたりしないでください。**
   ◆ 本機はレーザークラス 2（EN60825-1 準拠）のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

2. **取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。**

3. **取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリー以外は使用しないでください。**

4. **レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。**
   ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。

5. **レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。**
   ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。

6. **本機を分解・改造しないでください。**

7. **測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。**
   ◆ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。

8. **レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。**

9. **本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。**

10. **誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。**

11. 本機を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。

12. 本機を極度に高温または低温になる場所や、急激な温度変化のある場所では、使用しないでください。

13. 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。

14. 本機を*Bluetooth*®機能が有効な状態で使用する場合、他の機器、システム、航空機、医療機器（例、心臓ペースメーカー、補聴器）との干渉が起きることがあります。また、人間や動物に傷害を与える恐れの可能性は完全に排除することはできません。医療機器、ガソリンスタンド、化学工場、爆発の危険性のある場所、爆風に曝される場所などの近くや航空機内で本機を*Bluetooth*®が有効な状態で使用しないでください。

⚠ 注　意

1. **使用前に、本機に損傷がないか点検してください。**
   - ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
2. **無理な姿勢で作業しないでください。**
   - ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
3. **子供を近づけないでください。**
   - ◆ 目の届かない場所で、子供に本機を使用させないでください。レーザー光が他者や子供自身の目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。
4. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
   - ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
5. **点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。**
   - ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけではなく、事故やけがの原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

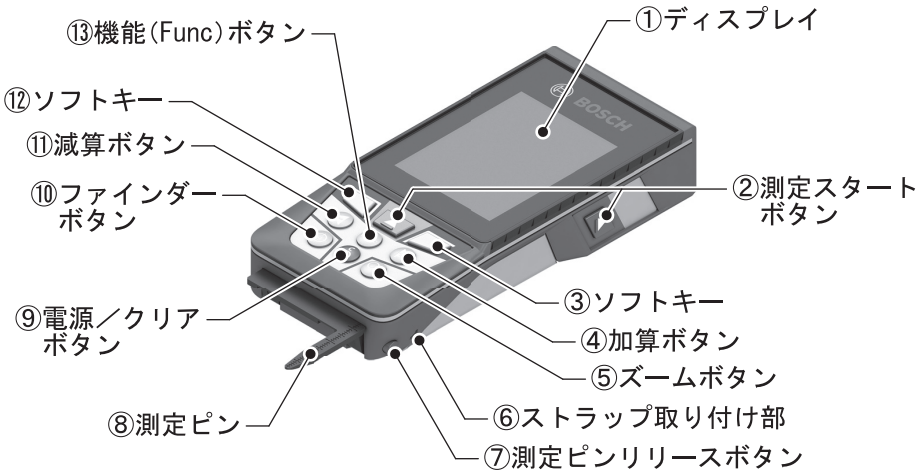
本製品について

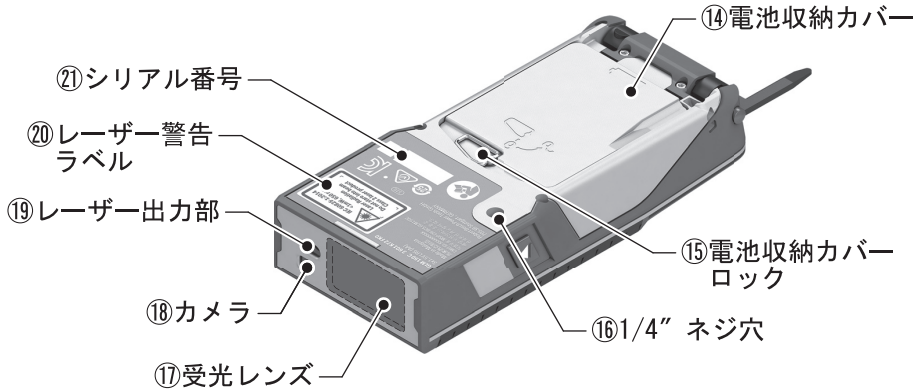
用　途

◆ 距離測定、長さ測定、高さ測定、隙間測定、傾斜測定、面積測定、体積測定

◆ *Bluetooth*®による測定結果の転送

各部の名称

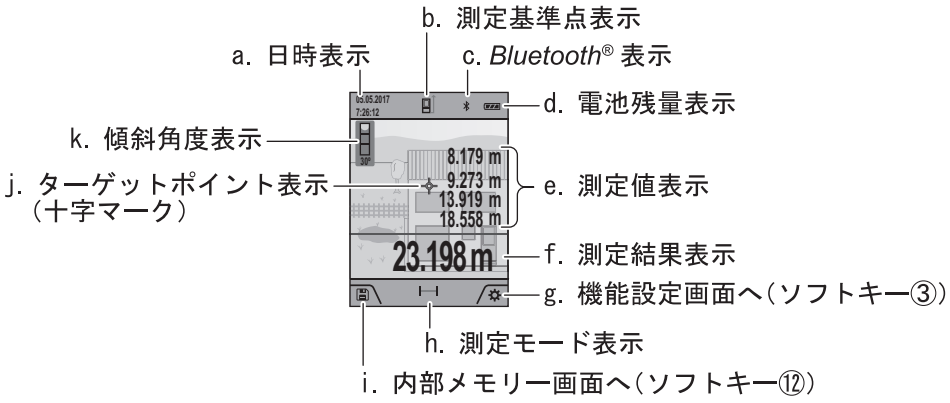




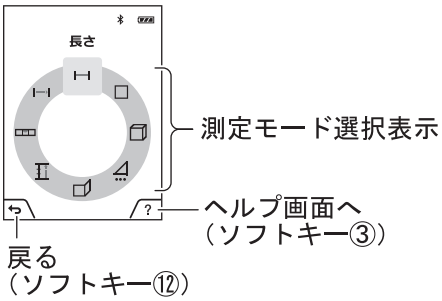
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ

メイン画面　電源を入れたとき、測定するとき



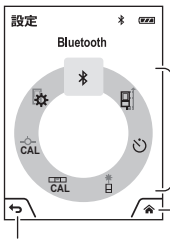
測定モード画面　メイン画面で「機能（Func）ボタン⑬」を押す



- 距離測定モード
- 連続測定モード
- 面積測定モード
- 体積測定モード
- 間接・ピタゴラス測定モード
  - 間接高さ測定モード
  - 簡単ダブルピタゴラス測定
  - 間接距離測定モード
  - 台形測定モード
- 壁面積測定モード
- 等間隔測定モード
- 傾斜測定モード

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

機能設定画面　メイン画面で「ソフトキー③」を押す



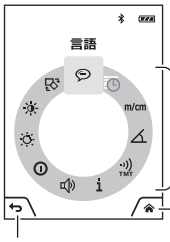
機能選択表示

メイン画面へ
（ソフトキー③）

戻る
（ソフトキー⑫）

- *Bluetooth*®
- 測定基準位置
- タイマー測定
- レーザー光連続照射
- 角度校正（キャリブレーション）
- ファインダー校正（キャリブレーション）
- ツール設定

ツール設定画面　機能設定画面で「ツール設定 」を選択



ツール選択表示

メイン画面へ
（ソフトキー③）

戻る
（ソフトキー⑫）

- 言語
- 日時
- m/cm 測定単位
- 角度単位
- ツール情報
- シグナル音
- シャットダウン時間
- 自動照明オフ時間
- 照度
- 回転表示
- TrackMyTools
  （日本仕様品では機能がありません）

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕　様

型　番	GLM 150 C Professional
測定可能範囲	
距離測定（標準）	0.08～150m *1
距離測定（測定に不利な環境下）	0.08～60m *2
ピタゴラス測定の傾斜	0～360°（4×90°）
傾斜測定	0～360°（4×90°）
測定精度	
距離測定（標準）	±1.5mm *1
距離測定（測定に不利な環境下）	±3.0mm *2
傾斜測定（標準）	±0.2° *3, *4, *5
最小測定単位	
距離測定	0.5mm
傾斜測定	0.1°
使用温度範囲	－10～＋45℃
保管温度範囲	－20～＋70℃
最大相対湿度	90％
使用可能標高	2000m（最高）
レーザークラス	クラス 2
レーザーの種類	650nm、＜1mW
レーザー光径 （周辺温度 25℃の場合）	約 9mm（測定距離 10m） 約 90mm（測定距離 100m）
自動電源オフ（測定を行わなかった場合）	
レーザー光	約 20 秒
本体	2 分、5 分、10 分、または「自動シャットダウンなし」（選択可能）
防じん・防水構造	IP54
質　量	230g（電池を含む）
寸　法	142（測定ピンリリース時 176）×64×28mm
電　源	単 3 形アルカリ乾電池 3 本
測定単位	m/cm（選択可能）

操作音	あり
汚染度	2 *6
データ転送	
Bluetooth®	*Bluetooth*® 4.2 Low Energy *7
周波数	2402～2480MHz
最大送信出力	8mW

*1 弱い逆光、使用温度 25℃のとき、前方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、±0.05mm/m を増減します。

*2 強い逆光のとき、前方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、±0.15mm/m を増減します。

*3 0°および 90°で校正後、傾斜角 45°までの偏差は±0.01°/度を増減します。
傾斜測定の 3 方向（34 ページ参照）の精度です。

*4 使用温度 25℃のとき。

*5 傾斜測定の測定基準は本機の左側面です。

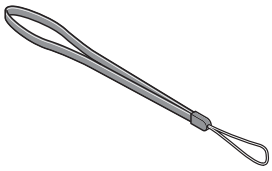
*6 非導電性の汚染は発生するが、たまたま結露によって一時的に導電性が引き起こされることが予想されます。（IEC61010-1）

*7 転送先の機種や OS によっては、省電力 *Bluetooth*®通信ができないことがあります。
Bluetooth®機器には SPP プロファイルのサポートが必要です。

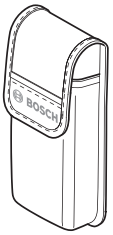
お客様のレーザー距離計のシリアル番号は、銘板に記載されています。
（6 ページ「各部の名称」参照）

本機は、日本の電波法および電気通信事業法の規格に準拠しています。
分解・改造しないでください。（分解・改造すると認証番号は無効になります）

標準付属品



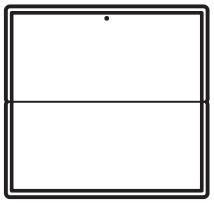
ストラップ



キャリングバッグ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

別売アクセサリー



レーザーターゲットプレート

レーザーメガネ

三脚

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

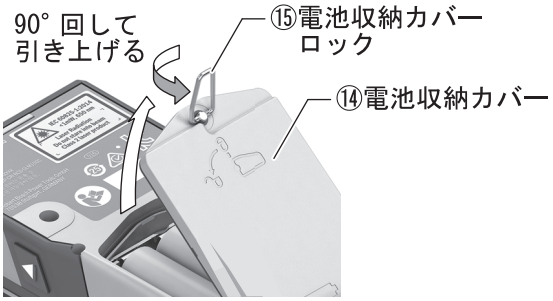
作業前の準備をする

電池を取り付ける・取り外す

取り付け

1. 「測定ピンリリースボタン⑦」を押して、「測定ピン⑧」を起こします。

2. 「電池収納カバー⑭」を開きます。
「電池収納カバー⑭」は、「電池収納カバーロック⑮」を起こし、反時計回りに 90° 回して引き上げて開きます。



3. 電池収納部の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取り付けます。
☞ 単 3 形アルカリ乾電池 3 本を使用してください。
☞ 電池を交換するときは、電池を 3 本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
☞ 付属されている電池は作動テスト用です。

4. 「電池収納カバー⑭」を閉じ、「電池収納カバーロック⑮」を時計回りに 90° 回して倒します。

☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。

☞ 電池残量表示 g が点滅したら、電池を交換してください。

取り外し

1. 「測定ピンリリースボタン⑦」を押して、「測定ピン⑧」を起こします。

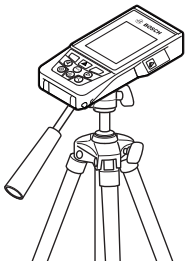
2. 「電池収納カバー⑭」を開きます。
   「電池収納カバー⑭」は、「電池収納カバーロック⑮」を起こし、反時計回りに 90° 回して引き上げて開きます。

3. 電池を取り外します。

4. 「電池収納カバー⑭」を閉じ、「電池収納カバーロック⑮」を時計回りに 90° 回して倒します。

三脚に取り付ける（三脚を使用して測定するときのみ）

長い距離を測定する場合は三脚を使用します。
本体下部に装備された 1/4″ ネジ穴⑯を使用して、別売アクセサリーの三脚または市販の写真撮影用三脚に本体を取り付けます。



作業する

⚠警告
- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。

⚠注意
- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

☞ 測定するときは、受光レンズ⑰、カメラ⑱、およびレーザー出力部⑲に何も被さっていないことを確認してください。

☞ 測定中はレーザー距離計を動かさないでください。（連続モードは除く）
このため、レーザー距離計はできるだけ測定点上に当てるようにしてください。

☞ 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。

☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影を当てるとレーザー光が見やすくなります。

☞ 透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。

① 電源を入れる

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON

「電源／クリアボタン⑨⏻」または「測定スタートボタン②△」を押します。

「電源／クリアボタン⑨⏻」で電源を入れた場合は、レーザー光は照射されません。

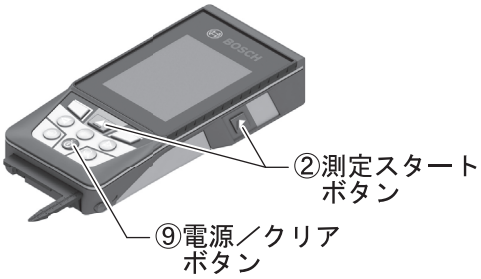
「測定スタートボタン②△」で電源を入れた場合には、レーザー光が照射されます。

☞ 電源を入れたときは、ディスプレイ①にメイン画面が表示されます。

スイッチ OFF

「電源／クリアボタン⑨⏻」を長押しします。

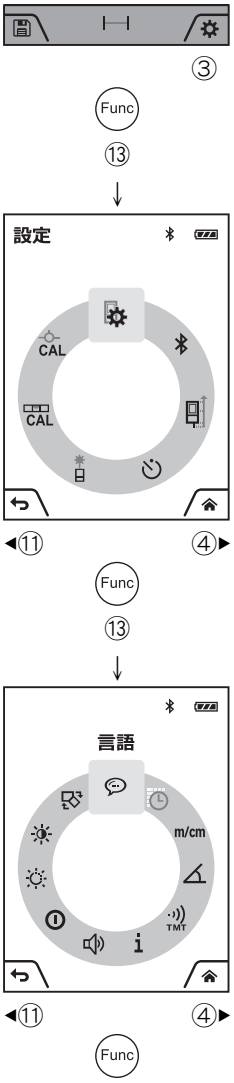
☞ 保存されている測定値および基本項目の設定は、電源を切っても記憶されています。



② 基本項目を選択する

表示言語や単位、操作音、ディスプレイ①表示の自動回転などを設定できます。
設定した項目は、本機の電源を切っても保持されます。

1. メイン画面が表示されているときに「ソフトキー③（機能設定画面へ）」を押して、機能設定画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン④」または「減算ボタン⑪」を繰り返し押して、「 （ツール設定）」を選択します。
3. 「機能ボタン⑬」を押して、ツール設定画面に切り替えます。
4. 「加算ボタン④」または「減算ボタン⑪」を繰り返し押して、設定項目を選択します。
5. 「機能ボタン⑬」を押して、項目選択を確定します。
6. 「加算ボタン④」または「減算ボタン⑪」を繰り返し押して、設定を切り替えます。
7. 「機能ボタン⑬」を押して、設定を確定（保存）します。
8. 必要な項目について、4～7 項の操作を繰り返します。



☞ 基本項目の設定を終了するときは、「電源／クリアボタン⑨」または「ソフトキー③（メイン画面へ）」「ソフトキー⑫（戻る）」のいずれかを押してください。

使い方

言語

表示する言語を選択します。

日時

表示する日付と時刻を設定します。
電池を交換したときは、再設定してください。
この設定のみ「ソフトキー⑫（戻る)」を押して確定します。

m/cm 測定単位

測定する長さの単位を選択します。
デフォルトはメートルです。

角度単位

測定する角度の単位を、度（°）または勾配（%）（mm/m）から選択します。
デフォルトは度です。

ツール情報

本機のツール情報を表示します。

シグナル音

ボタンを押したときや測定完了時などに、シグナル音を鳴らすか鳴らさないかを選択します。

シャットダウン時間

何も操作しないときに、自動的に電源を切るまでの時間を設定します。
2 分、5 分、10 分、または「自動シャットダウンなし」が選択できます。

自動照明オフ時間

何も操作しないときに、自動的に画面のバックライトを切るまでの時間を設定します。デフォルトは約 30 秒です。

照度

画面の明るさを設定します。

回転表示

本機の設置方向に応じて、画面の表示方向（上下左右）を自動的に切り替えるか固定するかを選択します。

TrackMyTools

日本仕様品では機能がありません。

③ 測定モードを選択する

測定モードは、下記から選択できます。
●距離測定モード　●連続測定モード　●面積測定モード
●体積測定モード　●間接・ピタゴラス測定モード（サブ 4 種）
●壁面積測定モード　●等間隔測定モード　●傾斜測定モード

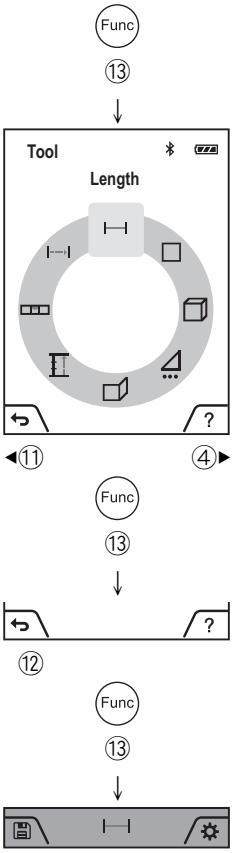
電源を入れた直後は、「距離測定モード」が選択されています。
一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのままで測定されます。

1. メイン画面が表示されているときに「機能ボタン⑬Func」を押して、測定モード選択画面に切り替えます。

2. 「加算ボタン④▷」または「減算ボタン⑪◁」を繰り返し押して、測定モードを選択します。

3. 「機能ボタン⑬Func」を押して、測定モードを確定します。
「間接・ピタゴラス測定モード」のときは、サブメニューに進みますので、同様にサブモードを選択して確定します。

4. 再度「機能ボタン⑬Func」を押すか、「ソフトキー⑫（戻る）」を押すと、測定モード選択画面が閉じ、メイン画面に戻ります。



⊢⊣ 距離測定モード

ターゲットまでの距離を測定したいときに選択します。

連続測定モード

照準点を基準に本機を移動させながら、連続して距離を測定したいときに選択します。

面積測定モード

長方形（壁・床など）の面積を測定したいときに選択します。

体積測定モード

直方体（室内など）の体積を測定したいときに選択します。

間接・ピタゴラス測定モード（サブ 4 種）

ピタゴラスの定理を利用して、間接的に長さを測定したいときに選択します。
サブモードとして下記の 4 種が選択できます。
（27 ページ「間接・ピタゴラス測定する」の各項参照）

- 間接高さ測定モード
- 簡単ダブルピタゴラス測定モード
- 間接距離測定モード
- 台形測定モード

壁面積測定モード

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定したいときに選択します。

等間隔測定モード

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定したいときに選択します。

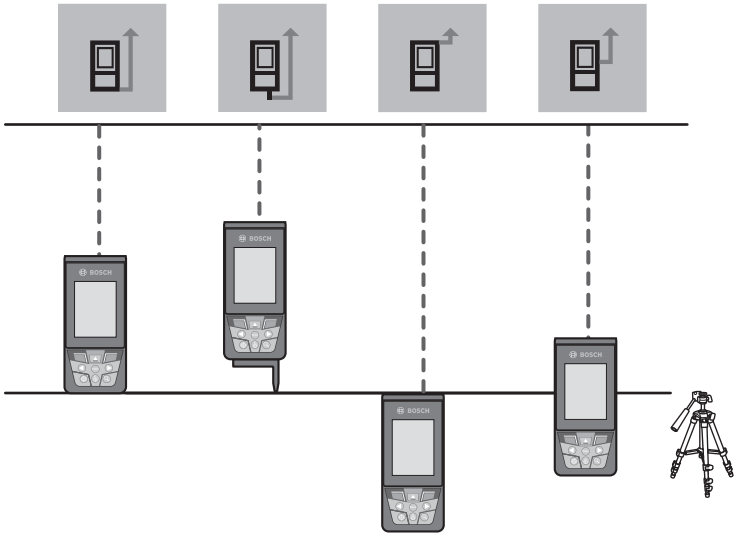
傾斜測定モード

傾斜の角度を測定したいときや、水準器として使用したいときに選択します。

☞ ヘルプ画面に切り替えると、各測定モードの作業手順をアニメーションで見ることができます。
測定モードを選択したら、「ソフトキー③（ヘルプ画面へ）」を押してください。アニメーションが開始します。
「ソフトキー③」で一時停止／再開、「加算ボタン④▷」と「減算ボタン⑪◁」で前後に早送りすることができます。
終了するときは「ソフトキー⑫（戻る）」を押してください。

④ 基準位置を設定する

測定基準位置は、下記の 4 個所から選択できます。
●本体の後方端部 ●測定ピンの後方端部 ●本体の前方端部 ●1/4″ ネジ穴



電源を入れた直後は、後方端部が基準位置になっています。
一度任意の基準位置に設定した後は、基準位置を変更するか電源を切らない限り、同じ基準位置で測定されます。

1. メイン画面が表示されているときに「ソフトキー③(機能設定画面へ)」を押して、機能設定画面に切り替えます。

2. 「加算ボタン④▷」または「減算ボタン⑪◁」を繰り返し押して、「測定基準位置( )」を選択します。

3. 「機能ボタン⑬Func」を押して、選択を確定します。

4. 「加算ボタン④▷」または「減算ボタン⑪◁」を繰り返し押して、基準位置を切り替えます。

5. 「機能ボタン⑬Func」を押して、設定を確定(保存)します。

本体の後方端部

本体を壁などに押し当てて、向かい側の壁までの距離を測定するときに選択します。

測定ピンの後方端部

部屋の隅やアルミサッシ凹部など、本体が完全に入らないところから測定するときに選択します。
「測定ピン⑧」は「測定ピンリリースボタン⑦」を押すと飛び出します。
収納するときは、「測定ピンリリースボタン⑦」を押しながら「測定ピン⑧」を本体側に倒し、「測定ピンリリースボタン⑦」から指を離します。

☞ 「測定ピン⑧」を出しても、測定基準位置は自動的に変更されません。

本体の前方端部

テーブルの角などから測定するときに選択します。

1/4″ ネジ穴

三脚を使用して測定するときに選択します。
基準位置（点）はネジ穴の中心になります。

5 ファインダーを使用する

メイン画面が表示されているときに「ファインダーボタン⑩ ⊕」を押すと、ディスプレイ①の背景にカメラ⑱の映像と、レーザー光のターゲットポイント j が表示されます。
「ズームボタン⑤ 🔍」を押すたびに、映像を 3 段階までズームイン（拡大）できます。測定点が遠くて見づらいときなどに使用してください。4 回目を押すと元の倍率に戻り、以降ズームの繰り返しになります。
再度「ファインダーボタン⑩ ⊕」を押すと、映像は消えます。
映像の ON/OFF は、本機の電源を切っても保持されます。

☞ 極端に近い測定点をファインダーで見ると、実際のレーザー光照射点とターゲットポイント j がずれることがあります。この場合はファインダーの使用をやめ、目視で測定してください。

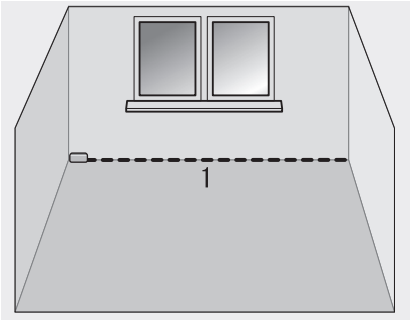
⑥ 測定する

⚠警告 ◆ **レーザー出力部⑲が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。**

☞ 照射後、約 20 秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。
切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン②△」を押すと照射されます。

距離を測定する

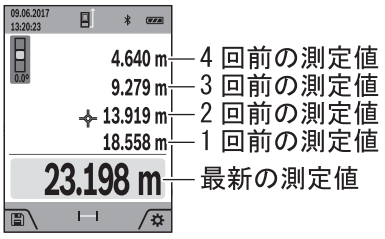
距離を求めます。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

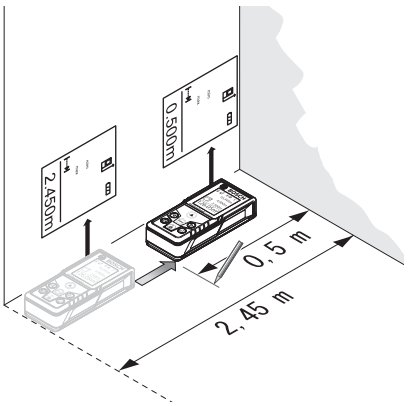
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②△」を押して測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。
測定を繰り返し続けると、測定結果表示 f に最新の測定結果が表示され、測定値表示 e に過去の測定値が表示されます。



連続測定する

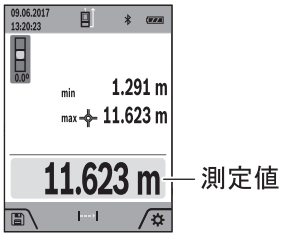
照準点を基準としながら距離を測ります。
連続測定は、約 5 分間測定し続けます。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

測定値は 0.5 秒ごとに更新されます。
ディスプレイ①の測定結果表示 f に希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。

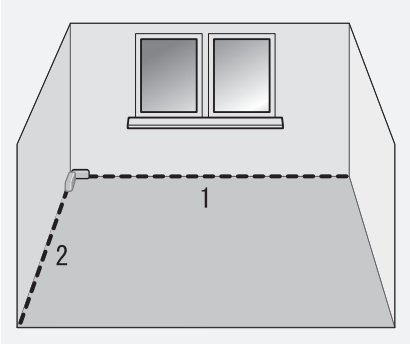


☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン②△」を押してください。
レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。その上に最大値と最小値が表示されます。
再度、「測定スタートボタン②△」を押すと、連続測定を新たに開始します。

☞ 連続測定は、5 分後自動的に解除されます。

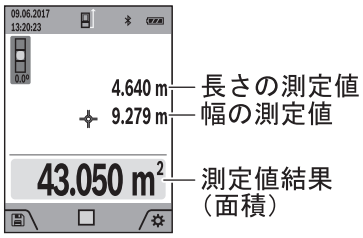
面積を測定する

長さと幅を測定して面積を求めます。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②△」を押して長さを測定します。
   測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 上段に表示されます。
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
   ☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②△」を押して幅を測定します。
   測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

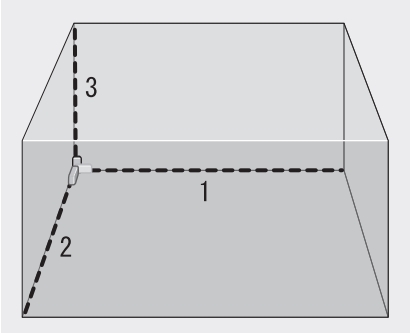
   測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 下段に表示されます。面積の測定値はディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。



使い方

体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②△」を押して長さを測定します。
   測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 上段に表示されます。

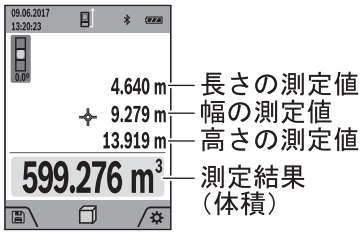
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
   ☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②△」を押して幅を測定します。
   測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 中段に表示されます。

6. 続けて、レーザー光を高さの目標面に当てます。
   ☞ 幅の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン②△」を押して高さを測定します。
   測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、高さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 下段に表示されます。体積の測定値はディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。



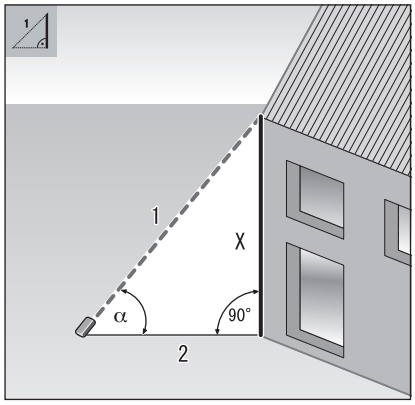
間接・ピタゴラス測定する

何らかの障害物にレーザー光が遮られ、直接の測定が行えない場合や、反射に適した対象物がない場合、辺測定することで、値を出すことができます。正確な測定結果を得るためには、レーザー光と求めようとする距離が、完全に直角を成す必要があります。(三平方の定理)

☞ 間接・ピタゴラス測定モードで算出された距離は、距離測定モードで直接測定した距離より精度が落ちます。また、対象物によっては測定誤差が大きくなる可能性があります。測定精度を向上させるには、三脚を使用してください。

間接高さ測定

右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺 1 を測定します。
辺 2 と辺Xは直角である必要があります。

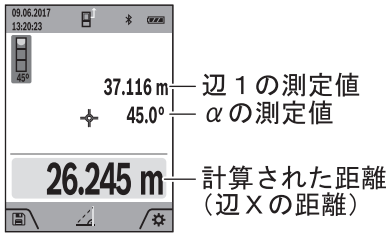


1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

2. レーザー光を辺 1 の目標面に当てます。
   本機を辺Xの下の点と水平に置き、測定基準位置を中心に本機を傾けます。

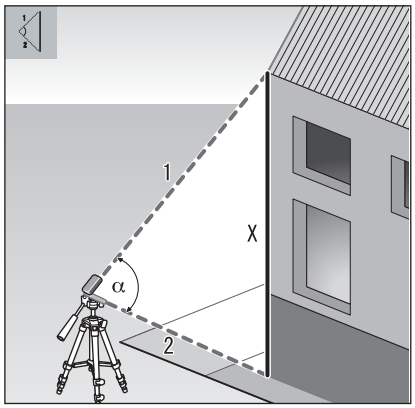
3. 「測定スタートボタン②△」を押して、辺 1 の距離を測定します。

   測定が完了すると、辺 1 と傾斜角度αの測定値がディスプレイ①の測定値表示 e に表示されます。辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



簡単ダブルピタゴラス測定

右記の例で、距離Ｘを求めようとした場合、辺１、２を測定します。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

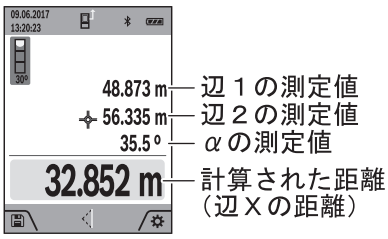
2. レーザー光を辺１の目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②△」を押して、辺１の距離を測定します。
   測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定値表示 e に表示されます。

4. 続けて、レーザー光を辺２の目標面に当てます。
   ☞ 辺1の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

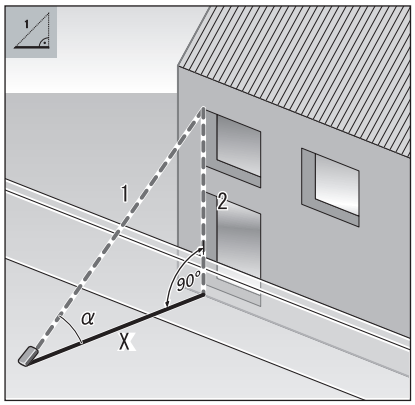
5. 「測定スタートボタン②△」を押して、辺２の距離を測定します。
   ☞ 辺1を測定したときの測定基準位置と、同一の位置で測定してください。
   測定基準位置がずれると、正確な値を得ることができません。

辺２の測定が完了すると、辺２と傾斜角度αの測定値がディスプレイ①の測定値表示 e に表示されます。
辺Ｘの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



間接距離測定

右記の例で、距離Ｘを求めようとした場合、辺１を測定します。
辺２と辺Ｘは直角である必要があります。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させせます。

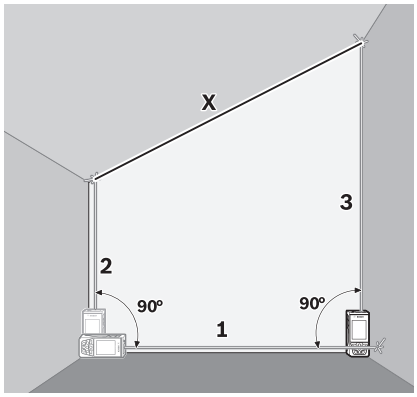
2. レーザー光を辺１の目標面に当てます。
   本機を距離を求める方向に水平に置き、測定基準位置を中心に本機を傾けます。

3. 「測定スタートボタン②△」を押して、辺１の距離を測定します。

   測定が完了すると、辺１と傾斜角度αの測定値がディスプレイ①の測定値表示ｅに表示されます。
   辺Ｘの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示ｆに表示されます。
   測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

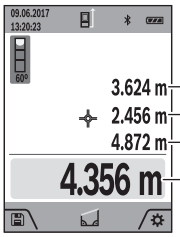
台形測定

右記の例のように、屋根裏の勾配長さＸを求めようとした場合、辺１、２、３を測定します。
辺１と２、辺１と３はそれぞれ直角である必要があります。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を辺１の目標面に当てます。



辺１の測定値
辺２の測定値
辺３の測定値
計算された距離
（辺Ｘの距離）

3. 「測定スタートボタン②△」を押して辺１を測定します。
測定が完了すると、辺１の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 上段に表示されます。

4. 続けて、レーザー光を辺２の目標面に当てます。
☞ 辺１の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

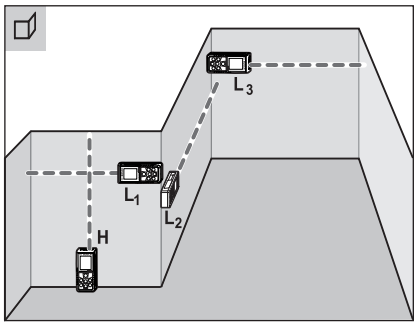
5. 「測定スタートボタン②△」を押して辺２を測定します。
測定が完了すると、辺２の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 中段に表示されます。

6. 続けて、レーザー光を辺３の目標面に当てます。
☞ 辺２の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン②△」を押して辺３を測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
測定が完了すると、辺３の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e 下段に表示されます。勾配長さＸの測定値はディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。

壁の総面積を測定する

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定することができます。
例では、部屋の高さＨが同じで幅Ｌが異なる３つの壁面積の合計を求めます。



1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

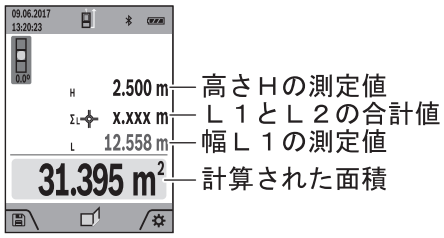
2. レーザー光を高さＨの目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②△」を押して、高さＨを測定します。
   測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定値表示 e の上段に表示されます。

4. レーザー光を一面目の壁の幅Ｌ１の目標面に当てます。
   ☞ 高さＨの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②△」を押して、幅Ｌ１を測定します。

   測定が完了すると、幅Ｌ１の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e の下段に表示されます。
   壁の面積は、ディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。



6. 続けて、レーザー光を二面目の壁の幅Ｌ２の目標面に当てます。
   ☞ 一面目の壁の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

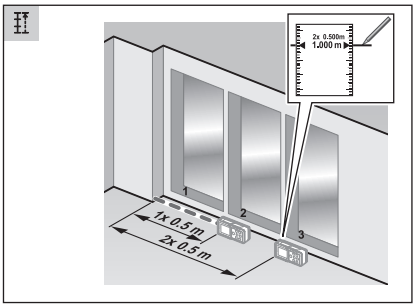
7. 「測定スタートボタン②△」を押して、幅Ｌ2 を測定します。
   測定が完了すると、幅Ｌ2 の測定値がディスプレイ①の測定値表示 e の下段に表示されます。
   測定値表示 e の上段には高さＨの測定値、中段には幅Ｌ1 とＬ2 の測定値の合計が表示されます。
   壁の面積の合計は、ディスプレイ①の測定結果表示 f に表示されます。

8. 同様の手順で三面目の壁の幅Ｌ3 を測定します。
   ☞ レーザー光を切るまで、同様の手順で数面の壁の総面積を測定できます。

9. 「測定スタートボタン②△」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

等間隔測定する

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定できます。
材料を同じ長さに切断したり、等間隔に柱を立てたりするときに使用します。
☞ 設定できる長さは、0.1～50m です。



設定したい長さは、まず「ソフトキー⑫」を押し、「加算ボタン④▷」または「減算ボタン⑪◁」を押して数値を選択し、再び「ソフトキー⑫」を押して確定します。

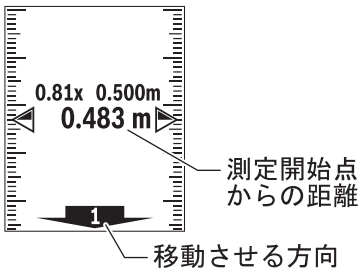
ディスプレイ①には測定開始点からの距離が表示されます。

1. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。

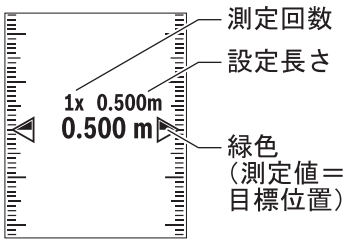
2. 本機を測定開始点からゆっくり後方へ移動させます。

測定開始点からの距離が連続して測定され、設定した長さと実際に測定された距離がディスプレイ①に表示されます。
下の段の値は次の目標位置までの距離を示します。

☞ 連続測定中に「測定スタートボタン②△」を長押しすると、そのときの測定値を設定長さに設定できます。



目標位置に到達すると、ディスプレイ①両端の三角マーク◀▶が緑色になります。
測定値が目標位置を超えると、ディスプレイ①の両端の三角マーク◀▶が赤色になります。
上の段の左の値は、設定長さを何回測定したかを示します。



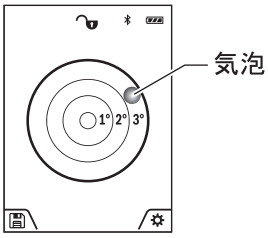
3. 「測定スタートボタン②△」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

傾斜を測定する

傾斜の角度を測定したり、水準器として使用したりできます。
本機の向きによってディスプレイ①の表示が自動的に切り替わります。

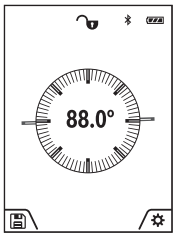
本機を下面を下にして置くと、水準器として使用できます。

☞ 傾斜が 3° 以上あるときは、気泡が赤く点灯します。



本機を左側面または底面(受光レンズ⑰面)で立てて置くと、ディスプレイ①が傾斜測定画面になります。
いずれの場合も、左側面が傾斜角度の基準になります。

☞ 測定中にディスプレイ①が点滅するときは、本機を傾けすぎています。



測定値を削除する

「電源／クリアボタン⑨」を押すと、最新の測定値が削除されます。
「電源／クリアボタン⑨」を繰り返し押すと、最新の測定値から順に削除されます。

⑦ 測定値を加算・減算する

測定値の加算

☞ 加算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。
☞ 下記の組み合わせによる加算が可能です。
測定値＋測定値

1. 加算させたい値を測定します。

2. 「加算ボタン④⊳」を押します。
1 項での測定値と“＋”がディスプレイ①に表示されます。

3. 加算したい値を測定します。
測定値がディスプレイ①に表示されます。

4. もう一度「測定スタートボタン②△」を押します。
最初の測定値に 2 番目の測定値が加算された値が、測定結果表示 f に表示されます。
☞ 距離測定モードでは、3 項で加算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン②△」を押さなくても加算された値が表示されます。

5. 測定値の加算を終了するときは、「機能ボタン⑬Func」を押します。
測定モードの選択画面に戻ります。
☞ 測定値はメモリーに保存されています。

測定値の減算

☞ 減算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。
☞ 下記の組み合わせによる減算が可能です。
測定値－測定値

1. 減算させたい値を測定します。

2. 「減算ボタン⑪◁」を押します。
1 項での測定値と“－”がディスプレイ①に表示されます。

3. 減算したい値を測定します。
測定値がディスプレイ①に表示されます。

4. もう一度「測定スタートボタン②△」を押します。
最初の測定値から 2 番目の測定値が減算された値が、測定結果表示 f に表示されます。
☞ 距離測定モードでは、3 項で減算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン②△」を押さなくても減算された値が表示されます。

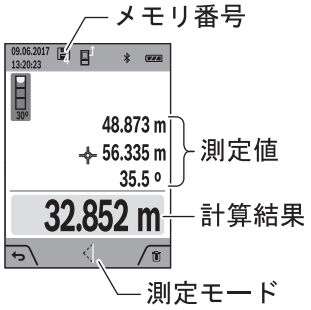
5. 測定値の減算を終了するときは、「機能ボタン⑬Func」を押します。
測定モードの選択画面に戻ります。
☞ 測定値はメモリーに保存されています。

⑧ 保存された測定値を呼び出す・削除する

本機は、自動的に最新 50 件の測定値と計算結果を保存しています。

測定値の呼び出し

メイン画面が表示されているときに「ソフトキー⑫（内部メモリー画面へ）」を押して、内部メモリー画面に切り替えます。
ディスプレイ①の上部にメモリー番号、下部に測定値と計算結果、左部に測定モードが表示されます。



「加算ボタン④▷」を押すとひとつ新しい測定値と計算結果が、「減算ボタン⑪◁」を押すとひとつ古い測定値と計算結果が表示されます。
保存されている値がない場合は、メモリー番号“0”が上部に、“0.000”が下部に表示されます。
最古の値はメモリー番号 1 に保存されています。最新の値はメモリー番号 50 に保存されています（50 件保存されている場合）。既に 50 件の値が保存されていると、測定するたびにメモリー番号 1 の値が消去されます。

測定値の削除

内部メモリー画面が表示されているときに「ソフトキー③（ごみ箱）」を押すと、ごみ箱マークが点滅します。
削除してよい場合は「ソフトキー⑫」を押すと、表示されている測定値が削除されます。

内部メモリーのすべての測定値を削除する場合は、内部メモリー画面が表示されているときに「ソフトキー③（ごみ箱）」と「ズームボタン⑤」を同時に押します。

他の機器へのデータ転送

Bluetooth®通信

本機は、*Bluetooth*®インターフェースを備えたモバイル端末・機器（スマートフォン、タブレット PC など）に、無線通信でデータ転送することができます。
Bluetooth®接続に必要なシステム条件については、ボッシュホームページ（http://www.bosch.co.jp）をご覧ください。
モバイル端末・機器用ボッシュソフトウエアは、APP ストアやグーグルプレイなどでも入手できます。

1. 機能設定画面で「*Bluetooth*®（ ）」を選択します。
   ディスプレイ①上部に *Bluetooth*®表示 c （有効・未接続）が表示されます。

2. 「加算ボタン④」を押します。

3. 通信先のモバイル端末・機器の *Bluetooth*®インターフェースが有効になっていることを確認し、ボッシュソフトウエアを起動して *Bluetooth*®を認識させます。
   モバイル端末・機器との接続が確立すると、*Bluetooth*®表示 c が （有効・接続済み）に変わります。

4. ボッシュソフトウエアで作業します。

5. *Bluetooth*®接続を切るときは、機能設定画面で「*Bluetooth*®（ ）」を選択します。

6. 「減算ボタン⑪◁」を押すと、*Bluetooth*®表示 c が消えます。
   または「電源／クリアボタン⑨⏻」を長押しして本機の電源を切ると、*Bluetooth*®接続も切れます。

☞ 接続の際に有効なレーザー距離計が複数台見つかった場合は、モバイル端末・機器側で 1 台を選択してください。有効な距離計が 1 台しか見つからなかった場合は、自動的にそれが接続されます。

☞ 航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。

☞ *Bluetooth*®によるデータ転送は、モバイル端末・機器と本機との距離や測定対象物によって、時間がかかることがあります。

Bluetooth®のワードマークと *Bluetooth*®のロゴは Bluetooth SIG Inc. の登録商標であり、Robert Bosch Power Tools GmbH は商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

レーザー距離計の精度チェック

距離測定の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

☞ 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない屋内の場所で、3～10m 程度の距離を決めます。（例えば、室内幅やドアの開孔口など）
   対象物の表面は平坦で、レーザー光がよく反射するものにします。

2. 1 項で決めた距離を、10 回続けて測定します。
   測定値の許容誤差は、±4mm 以下です。

傾斜測定の精度チェックおよび角度校正

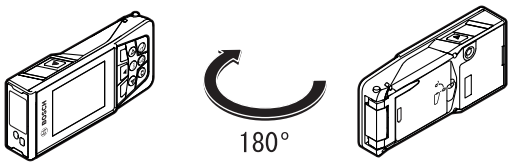
定期的に傾斜測定の精度チェックを行ってください。

☞ 極端な温度変化や強い衝撃を受けた場合は、精度チェックを行い、必要であれば校正してください。温度変化があった場合は、本機を温度に慣らしてから校正してください。

1. 本機を水平なテーブル上に置き、
   傾斜を測定します。

2. 同じ場所で本機を 180° 回転させ、再度傾斜を測定します。

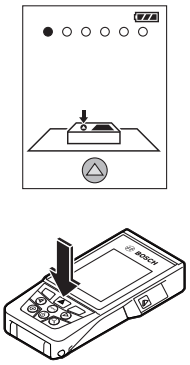
3. 本機を横向きにして同様に測定します。



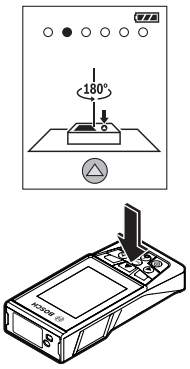
☞ 測定値の許容誤差は 0.3° 以下です。

4. 測定値の差が 0.3° 以上の場合は、校正が必要です。
機能設定画面で「角度校正（ CAL ）を選択します。ディスプレイ①に表示される指示に従って校正してください。

①本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。

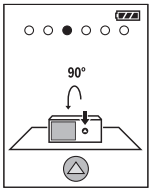


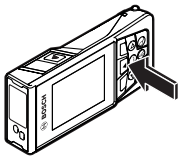
②ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて再度傾斜を測定します。



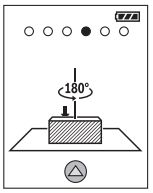
使い方

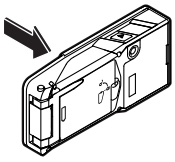
③ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を横向きにして、再度傾斜を測定します。



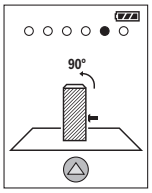


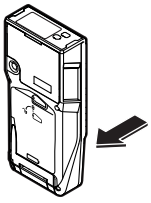
④ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて、再度傾斜を測定します。



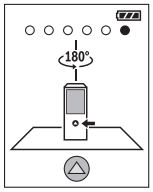


⑤ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を立てて、再度傾斜を測定します。

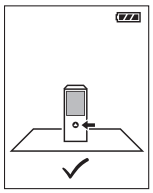




⑥ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて、再度傾斜を測定します。



完了



その他の機能設定

機能設定画面では、必要に応じて下記の項目についても設定することができます。設定方法は「*Bluetooth*®」や「測定基準位置」と同様です。

タイマー測定

「測定スタートボタン②△」を押してから実際に測定するまでの遅延時間を設定することができます。測定モードを切り替えるか、タイマー測定をＯＦＦに設定するまで、遅延時間は有効です。

1. 機能設定画面で「加算ボタン④▷」または「減算ボタン⑪◁」を繰り返し押して、「タイマー測定」を選択します。
2. 「機能ボタン⑬Func」を押して、確定します。
3. 「加算ボタン④▷」または「減算ボタン⑪◁」を繰り返し押して、遅延時間を選択します。
4. 「測定スタートボタン②△」または「機能ボタン⑬Func」を押すとメイン画面に戻り、上部に遅延時間が表示されます。
5. 「測定スタートボタン②△」を押して、レーザー光を照射させます。
6. レーザー光を目標面に当てます。
7. 再度「測定スタートボタン②△」を押すと、設定時間が経過してから測定を行います。

☞ タイマー測定の設定は、「連続測定モード」では無効です。

レーザー光連続照射

ONにすると、測定モードにかかわらず、レーザー光を連続照射することができます。
レーザー光照射中は「測定スタートボタン②△」を押すたびに測定を行います。
OFFにするか本機の電源を切るまでは、レーザー光は自動的に切れません。

CAL ファインダー校正

ファインダー使用時に表示されるターゲットポイント j のずれを校正することができます。操作方法は、「角度校正」と同様です。

ツール設定

ツール設定画面に切り替えることができます。
16 ページを参照してください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
温度警告表示が点滅して、測定ができない	本体が使用温度範囲（－10～＋45℃）になっていない	測定ツールが使用温度範囲になるまで待つ
ERROR が表示される	測定値の加算／減算を行う際に、それぞれの測定値単位が異なっていた	測定単位が同じもので、加算／減算し直す（測定値の加算／減算は同一の測定単位でのみ可能です）
	対象物へのレーザー光入射角度が鋭角すぎる	対象物へのレーザー光入射角度を広げる
	測定対象物から適切な反射が得られない（水面、ガラス、黒い布など）、または周辺光が明るすぎる	レーザーターゲットプレート（別売アクセサリー）を使用する
	レーザー出力部⑲、受光レンズ⑰またはカメラ⑱が曇っている	やわらかい布でレーザー出力部⑲、受光レンズ⑰またはカメラ⑱を拭く
	測定結果または計算結果が±999999m、m^2、m^3を超えた	測定面を分割して測定する
	傾斜測定の角度校正が正しい順序、または正しい位置で行われなかった	再度校正する
	角度校正に使用した面が、水平または垂直でなかった	水平または垂直な面で、再度校正する 必要に応じて、校正前に水準器などで面を検査する
	角度校正でボタンを押すときに、本体が動いたり傾いたりした	ボタンを押すときに、本体をしっかり押さえ、再度校正する

症　　状	原　　因	対　　処
測定結果が不正確である	測定対象物から適切な反射が得られない（水面、ガラス、黒い布など）	照準対称面に何らかの覆いをする
	レーザー出力部⑲、受光レンズ⑰またはカメラ⑱に何かが被さっている	レーザー出力部⑲、受光レンズ⑰またはカメラ⑱を覆っている障害物を取り除く
	測定基準位置が間違っている	測定基準位置を確認して、正しく選択する
	レーザー光が対象物に当たっていない	レーザー光を対象物に確実に当てる
Bluetooth®が有効にならない	電池残量が少ない	電池を交換する
Bluetooth®が接続できない	*Bluetooth*®接続に失敗する	モバイル端末・機器のソフトウエアをチェックする 本機とモバイル端末・機器のそれぞれで*Bluetooth*®が有効となっているかチェックする モバイル端末・機器に負荷がかかり過ぎていないかチェックする 本機とモバイル端末・機器の距離を近くする 本機とモバイル端末・機器の間にある障害物や電磁障害を取り除く

修理を依頼するときは

◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール　0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9：00～午後5：30
※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813　埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030　FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104　福岡県糟屋郡新宮町的野741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

お手入れと保管

お手入れと保管

- レーザー距離計を保管・運搬する際には、必ず付属のキャリングバッグに収納してください。
- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗浄剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ⑰は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

廃　棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。
本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

MEMO

MEMO

MEMO

保　証　書

品 名　レーザー距離計　　型 式 GLM 150 C Professional

保証期間：　　年　　月　　日 より 1年間

お客様	お名前		販売店	販売店名及び住所
	ご住所	〒 TEL.		TEL. ㊞
お買い上げ日　　年　　月　　日				

本書は、保証･修理について正しい理解をしていただき、本機をいつまでも安心してお使いいただくためのものです。
※お買い上げ時に保証書の記入事項へ必ずご記入ください。
　記入がなされていない場合、保証を受けることができませんのでご注意ください。

1. レーザー距離計GLM 150 C Professionalのアフターサービスについて

レーザー距離計 GLM 150 C Professional のアフターサービスは、修理をせずに、無償または有償での新品交換にて対応させていただきます。

2. 保証について

このたびはレーザー距離計 GLM 150 C Professional をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この保証は、「保証書」に登録されているお客様に対して、保証期間内であり、かつ、正常なご使用状態であるにもかかわらず、材料上または製造上の不具合が発生した場合に、無償で新品と交換させていただくことをお約束するものです。
保証内容につきましては「保証書・保証規定」をお読みください。

保　証　規　定

1. 保証期間はお買い上げ日より１年間とします。
2. 製品保証対応をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご掲示いただきお申しつけください。
3. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り、保証対応させていただきます。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有償新品交換とさせていただきます。
   (a) 取り扱い方法、保管上に於て誤りがあった場合。
   (b) 不当な修理や改造による故障および損傷。
   (c) 火災、水害、地震、落雷、その他天災地変などによる故障および損傷。
   (d) 本書のご掲示がない場合。
   (e) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   (f) 保管の不備、お手入れの不備による故障および損傷。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行をいたしませんので、大切に保管してください。

ボッシュ株式会社　電動工具事業部
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7
TEL. 03-5485-6161